

(別添 3)

【東松山市】
校務 D X 計画

1 これまでの取組

東松山市では、国の G I G A スクール構想に基づき、令和 2 年度に 1 人 1 台端末（以下、学習用端末）を配布し、校内のネットワーク環境などを整備しました。

学習用端末の活用により、授業における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組を進めることができました。また、様々な困難を抱える児童生徒に対し必要に応じてオンライン授業などを行い、誰一人取り残すことない個別最適化された学びの実現に向けた取組を行ってきました。

また、令和 7 年 2 月には、プライベートクラウド環境による統合型校務支援システムをはじめ、保護者連絡システム、ホームページ作成システムを導入しました。

2 校務 D X の取組（統合型校務支援システム）

校務 D X を推進するため、校務支援システムにより、業務をデジタル化するとともに教育委員会から学校への文書送付の方法、F A X や押印などの制度や慣行を見直し、ペーパーレス化や校務事務処理の効率化を進めることで、児童生徒に向き合う時間の一層の充実を図り教員の働き方改革を推進します。

同様に保護者連絡システムにより、校務支援システムと連携させることで、欠席や遅刻などの連絡の省力化を図り、連絡文書のペーパーレス化及び利便性と確実性を向上させます。

さらにはホームページにより、学校の情報発信を増やすことで、学校・保護者・地域とのコミュニケーションの質と量を向上させ、児童生徒が安心して学べるように『学校・保護者・地域が協力し合い、お互いの信頼を高めることにより地域全体で子供を見守る環境』をつくります。

3 G I G A スクール構想の実現の推進（学習系システム）

G I G A スクール構想の実現のさらなる推進のため、学習用端末を更新しデジタル教科書をはじめ新たなデジタル教材等を充実させます。

また、活用が進む学習用端末のネットワーク環境を向上させるため、インターネット回線の増速を行います。

4 次世代校務 D X への取組の検討

次世代の校務 D X への取組として、校務系・学習系のネットワークの統合や、ゼロトラストセキュリティによるパブリッククラウド化を検討していきます。また、校務系と学習系のデータ連携により、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を充実していきます。